∴
知財座敷童（ざしきわらし）語り部
∴

『連携は大切です！』

宮城県知財総合支援窓口
事業責任者 古川博道

「ChatGPT を使って文章を作れる」を知ったことは、私にとって衝撃的なことでした。

先日、発明クラブ指導員の皆さまが多数参加される、「少年少女発明クラブ 東北ブロック運営協議会」の総会&合同研修会が開催されました。
その合同研修会の企画段階では、東北各県発明クラブからの「推し活動」紹介に加え、記念講演が計画され、講演テーマには、昨今話題の DX・IoT・AI 関連テーマへの希望が高まっておりました。

そこで、私ども宮城県発明協会（宮城県知財総合支援窓口）が知財支援活動で連携させていただいており、DX・IoT・AI 関連の技術的支援を手がけておられる、宮城県産業技術総合センターに相談したところ、ChatGPT に関する講演を快く引き受けてくださることになりました（注1）。

当日は、AI・機械学習・ChatGPT の位置づけといった AI 全容についての説明から、ChatGPT へのアクセスの仕方、質問入力の仕方、回答出力の見方、望む回答を得るための質問ノウハウといったことを、実例を交え、具体的・実践的に講義くださいました。

さらに、ChatGPT 活用における著作権についての考え方や問題点の最新情報も紹介していただきました。日ごろ、若者の技術力育成にご尽力くださっている発明クラブ指導員の皆さまに、AI 関連技術への関心を高めていただける良い機会にさせていただけたと思います。

ところで、筆者は今回の講演を聴いて、非常に ChatGPT を試してみたくてしかたがなくなりました。でも、これは、ChatGPT 作の文章ではありません。筆者のオリジナルです。

技術の進歩が目まぐるしい今日、いろいろな機関と連携させていただくことで、意外な道が開けますこと、想定以上の成果を手にできますことを、あらためて実感できた研修会でした。

<参考>

注1：講演資料は、宮城県産業技術総合センターWeb サイトにて、参照&ダウンロード可能です。
<https://www.mit.pref.miyagi.jp/generativeai-seminar/>
『アイデア発想に活かす生成 AI の実際』

※配信元：東北地域知財戦略本部事務局（東北経済産業局知的財産室）

※本コラムの無断転載を禁じます。